

登山月報

第19回アジア選手権	1
新連載 Mountain World 第23回	2
東京医科大学病院 渡航者医療センター 登山者・高山病外来のご案内	3
「安全登山講演と映画会」宮城大会	4
クライミングワールドユース選手権が開催	5
自然保護委員総会(新潟大会)報告	7
JMA、寄贈図書、編集後記	8

第19回アジア選手権・野口啓代とキム・ジャンの対決



9月17日～19日、中国／長治で第19回アジア選手権が行なわれ、日本からは男子5名、女子3名が参加した。アジア選手権といえば日本と韓国の戦いとなるのが、これまでの常であったが、今回は表彰台こそ日韓が占めたが、イラン、中国、カザフスタンなどの成長が感じられた。顕著だったのが女子リードで、決勝8名中、複数は韓国の2名のみで、あとの6名は、日本、台湾、中国、香港、イラン、カザフスタンとばらけた。

男子に関しては韓国の“小さな巨人”ミン・ヒュンビンにつける、といっても過言ではないだろう。身長(160cm未満)のハンディをものともせず、リードではあのソン・サンウォンを破り、ボルダーでは

世界3位の堀創に競り勝ち、2枚の金メダルを手にした。

女子はキム・ジャン対野口啓代の対決となった。リードでキムが予選・準決勝・決勝すべて完登で圧勝すれば、ボルダーでは野口が予選・準決勝・決勝の全課題をオンサイトし優勝した。

最後に、ボルダー→スピード→リードを連続して行なう、新しいカテゴリー、“オールラウンド”が、各国代表男女1名ずつで行なわれ、野口と松島暁人が3位となった。これによって野口啓代は金銀銅すべてのメダルを手にした。総メダル数に関しては、韓国の方が上だが、日本チームは完璧なベストメンバーではなかった(安間佐千、小林由佳が欠場)ことを付け加えておこう。

(写真と文=北山真)

【男子リード】	【女子リード】
①ミン・ヒュンビン	①キム・ジャン
②ソン・サンウォン	②野口啓代
③渡辺数馬	③シン・ウンセオン
【男子ボルダー】	【女子ボルダー】
①ミン・ヒュンビン	①野口啓代
②堀 創	②キム・ジャン
③茂垣敬太	③シン・ウンセオン



第23回 Mountain World

レッドポイントの創始者逝く

池田常道

ドイツのクルト・アルベルトが56歳で亡くなった。9月26日、ババリアのヒルシュバッハ溪谷にあるヘーエングリュックシュタイクのヴィア・フェラータで18m転落、重傷を負ってニュルンベルクの病院に収容されたが、28日午後8時45分帰らぬ人となった。ちなみにヴィア・フェラータとはイタリア語で、ドロミテなどの岩山を一般登山者が周遊できるように鎖や鉄棒で加工したルートを目指す。落ちればタダでは済まない場所であることはたしかだ。アルベルトの遭難はここをガイド中でのことだったという。

アルベルトは、こんにち言うレッドポイント (RP) 概念の創始者として知られている。1954年1月18日にニュルンベルクに生まれた彼は1968年14歳のとき地元のフランケンユーラでクライミングを始めた。10代後半にはアルピニズムへと歩を進め、グランド・ジョラス、アイガーの両北壁を弱冠18歳で登っている。

転機は1973年に訪れた。東ドイツ (当時) ザクセンのエルベ砂岩地帯を訪れた際に、きびしいルールを守りながら肉体の限界に挑んでいる地元クライマーに接して、西ドイツに帰ってから地元の岩場に同様なルールを導入した。当時の西ドイツでは、岩場の「頂上」に立つために残置ピトンをホールドにすることも厭わない (いわゆるA0) のもフリーと認めていた。アルベルトはそれを使わずに純粋なフリーで登ろうとし、登れたルートで使わなかった残



サレワの広告に使われた有名なショット。

置の横に赤ペンキで×印 (レッドクロス) を描いて証拠とした。やがてそれは、フリーで登れたルートの取り付きにちいさな赤い点を記すようになった。これこそレッドポイントの起源にほかならない。ドイツ語で言えばロートプンクトで、のちに創刊されるフリークライミング専門誌のタイトルとして有名になった。

フリークライミング草創期にはさまざまなスタイルがあって、いずれもフリーとみなされていた。落ちてもそのまま登りなおすとか、墜落しても手近のレストポイントまで降りてやりなおせばOKのアメリカン・スタイルなど許容範囲が広がった。そんななかで、落ちたら取り付きからやりなおすレッドポイントが大方のクライマーの支持を得てこんにちの定義につながっている。

アルベルトはこのスタイルを遠い辺境の岩場にまで拡大しようと試みた。当時この種のビッグウォールはエイドまじりで、出だしの数ピッチをフィックスするヨセミテ・スタイルで登られていた (これはいまでもスタンダードである) が、彼はあくまでフリーで登ることに固執した。

そのさきがけは1988年にカラコルムのトランゴ・タワーで行なったユーゴスラヴィア・ルートのフリー化だった。翌年にはヴォルフガング・ギュリッヒ (彼も故人である) らとオールフリーの新ルートを試みて、数カ所のエイドを含みながらもイターナル・フレイム (永遠の炎) を拓いた。このルートが完全にフリー化されるまで、昨年の一フーバー兄弟までじつに20年も待たなければならなかったことを考えると、アルベルトの先駆性にあらためて気づかされる。彼はその後も南極やパタゴニア、ベネズエラ、グリーンランド、バフィン島にフリーのビッグウォールを拓きつづけた。最後の成果は2009年、南米ロライマ南東壁に拓いたオテル・グアチャロ (7a+) だった。

しかし、彼のやり方には一部に批判がなかったわけではない。あくまでフリーで登るためには、プロテクションに少なからぬボルトを打つことも厭わなかったからだ。その結果せつかくのルートは、いまやどこにでもあるプリボルトのクラッグを何百メートルのスケールに拡大したものに墮することを免れない。手間暇かけた包囲戦術でもフリーがいいのか、多少のエイド含みでもワンプッシュでスピーディに登るアルパイン・スタイルがいいのか、その評価はクライマーの抱く価値観によって異なってくるものではあろうが。

東京医科大学病院 渡航者医療センター

登山者・高山病外来のご案内

2010年10月1日
登山者・高山病外来担当 増山 茂

渡航者医療センターとは



2010年9月1日、東京医科大学病院に新しい組織、渡航者医療センターがスタートしました。
<http://hospinfo.tokyo-med.ac.jp/shinryo/tokou/index.html>

海外渡航先には、様々な環境—暑いところ・寒いところ・水の中・砂漠・都会・田舎—などが含まれますが、最近増えているのは、「高いところ」に出かける方々です。

南米ボリビアのラパスの飛行場は標高4000mを越えます。ペルーのアタカマ高地（5000m）では何百人もの天文学者が年間を通して働いています。落盤で有名になったチリでの鉱山開発は高山が舞台です。

中央アジア、カザフスタンなどでも5000mの高地でさまざまな鉱山開発が行われています。

チベットの首都ラサは富士山と同じ高度。このラサに5000mを越える峠を越す鉄道が4年前に建設されました。この鉄道はさらに延長され、いずれヒマラヤ山脈を越えてネパールに抜ける予定であると報道されています。

「高いところ」は、登山者やトレkkerだけのものではなくなりました。ふつうの旅行者・ビジネスマン・研究者などが実はそれとは知らずに訪れており、思いもかけない事故に出会っています。

登山者・高山病外来とは

東京医科大学病院渡航者医療センターに設けました“登山者・高山病外来”では、国内外を問わず「そんな高いところに行って、私は大丈夫だろうか」という心配にお応えします。
<http://hospinfo.tokyo-med.ac.jp/shinryo/tokou/tozan.html>

【診療内容】

- 1) 海外渡航先（高所地帯）の情報提供・登山者健康相談
滞在先の特殊性に応じた医療情報を提供し適切な健康指導を行います。病気をお持ちの方、以前「高いところ」で調子が悪くなった方の相談にも応じます。
海外トレッキングや日本の「高いところ」に行っ
てかまわないか、登山やトレッキングをして大
丈夫かどうかの基礎的健康診断も行います。
- 2) 日本登山医学会登山者検診ネットワーク
<http://www.jsmmmed.org/pg54.html>
日本登山医学会登山者検診ネットワーク事業に
従った検診を行います。上記日本登山医学会
HP参照。英文併記の診断書を発行します。
- 3) 「高いところ」への渡航にあたっての薬剤処方
急性高山病の予防薬・治療薬、凍傷対処薬剤な
どを、ご相談の上、処方します。
*問題が発見された場合には、低酸素環境下な
どでの精密検査をおこないます。

【診療担当】

増山茂が担当します。当面は、火曜日午後と木曜日
午後となります。

経歴：千葉大学呼吸器内科、ボリビア高所病理学研
究所教授、了徳寺大学学長など。ネパール・ヒマラヤ、
チベット、天山山脈、カラコルム、パミール、アン
デス、北極圏バフィン島などで調査・研究を行うほ
か、一登山者としても国内外、夏冬問わず幅広く山
を楽しんでいる。

専門分野：呼吸器病学、低酸素の医学、高所医学、
登山医学、渡航医学

著書:『登山の救急医療ハンドブック』(山と溪谷社、2005)、『登山医学入門』(山と溪谷社、2006)など。学会などの社会活動(登山医学の領域):国際登山医学会副会長、アジア太平洋登山医学会副会長、日本登山医学会理事・事務局長・国際認定山岳医委員会委員長、国際低酸素学会評議員、国立登山研修所専門調査委員、NPO法人富士山頂測候所を活用する会理事

【料 金】 基本的に、自費診療です。

受診基本料は初回2,700円、2回目以降700円です。これに必要な検査料や処方料、診断書料が加わります。

日本登山医学会登山者検診は、セット価格で17,000円(消費税抜き)となります。(受診基本料と英文併記の診断書料も含まれていません。)

【問合せ先】

東京医科大学病院 渡航者医療センター

担当:鹿島、福島

〒160 - 0023

東京都新宿区西新宿6-7-1 東京医科大学病院7階

電 話:03-5339-3726(直通)

e-mail:travel@tokyo-med.ac.jp

創立50周年
記念事業

「安全登山の講演と映画会」宮城大会報告

成功させよう
JMA50周年記念

50th Anniversary
JMA



創立50周年記念事業の一つ「安全登山の講演と映画会」の宮城大会が、10月9日(土)～10日(日)に宮城県栗原市で開催された。

講演会は、中高年登山者のカリスマとして知られる岩崎元郎さんを講師にお迎えして栗原市の「この花さくや姫プラザホール」で行われた。

開会に先立ち地元栗原市の佐藤勇市長より歓迎の挨拶と平成20年岩手・宮城内陸地震の際のご支援・ご協力に対する感謝を述べられた。

岩崎さんの講演は、『登山の安全・安心を考える』をテーマに、登山を始めた動機から社会人山岳会で登山の基礎を学ばれた事など、登山人生50年で山から学ばれた「岩崎流安全登山」の極意を語られた。

映画会は、昭和32年に日活で制作された岩波映画作品「遭難一谷川岳の記録一」(66分)が上映された。昭和30年代、マナスル登頂でもたらされた

登山ブームで京浜地区から「近くて良き山」の谷川岳へは週末ごと大勢の登山者が押し寄せた。登山者の増加と共に遭難者も増えた。映画では事故の第一報から捜索隊を組織しての捜索活動。無事救出、遺体での搬出、茶毘、遺族・友人の悲しみなど山岳遭難の悲惨さを訴えていた。

その後、「平成20年岩手・宮城内陸地震・栗原の記録」のビデオ上映があり、被災から復旧、復興などが紹介された。

アトラクションは、尾形一幸福島県岳連会長もメンバーの福島男性合唱団による「山の唄コンサート」で会場の人と一緒に合唱し、盛り上がった。

日程終了後、宿舎の「ハイルザーム栗駒」へ移動し、岩崎講師を囲んでの懇親会も盛況だった。

翌日は懸念された天候も回復し、時間と共に濃霧が晴れ、素晴らしい紅葉山行となった。

宿舎からいわかがみ平駐車場まで宿のバスで送っていただき、栗駒山を目指した。駐車場でストレッチした後、岩崎流歩行術を教わり、歩き出す。

東栗駒山に着く頃には、濃霧も払拭され、秋晴れの下、まさに錦秋の栗駒を満喫できた。

秋の行事が相次ぐ中、主管を引き受けて頂いた宮城県山岳連盟の皆さん大変お世話になりました。

(尾形好雄)

クライミングワールドユース選手権（エジンバラ大会）が開催

2010年の9月9日から12日にかけて、イギリス・スコットランドのエジンバラにおいて、クライミングの世界ユース選手権が開催された。

日本からの参加は19名、最大規模の選手団ではないが、大きな選手団である。結果からいって、予想を下回るYA女子の小田とJr男子の樋口の2名しか決勝に進むことはできず、2年連続の表彰台なし、という厳しい結果であった。

あとほんの少しで決勝へ行けたものは、Jr男子初出場の藤井 YB男子の島谷。たかが一手だが、取れたか、取れなかったかの差は大きかった。

また過去出場歴がある選手に関して、前々回のシドニーから前回のバランスでは、競争が激化する中順位を上げた選手が多かったが、前回のバランスから今回のエジンバラに関しては、順位を落とした選手が目立った。

全般には、選手が今大会に出場するに際して目標としたものと、現実の順位のがギャップが大きかった者が目立った。彼らの半分でも目標を達成していれば素晴らしいのだが…あまりに楽観的だったのかもしれない。

今まであまり目立たなかった国のレベルが着実に上がりつつあり、日本はそのレベルの上昇に対して若干停滞



気味と言えるのではないかと気がする。

強豪国との違いについては、クライミングのテクニクについては互角以上の印象であるが、日本ユース選手には身体的にも精神的にも、比較すると多くの未熟さが多く見受けられ、やはり、身体能力的にも、強豪国選手に比べ明らかに劣っている印象を強く受けた。

今後、多くのユース関係者が、クライミングテクニクに偏重しすぎであるように見受けられる国内の現状を変えていく努力を行わないと、そこそこ上手いユースが

スポーツ安全保険

傷害保険
賠償責任保険
共済見舞金

対象となる事故 **団体活動中の事故／往復中の事故**

保険期間 平成22年4月1日午前0時より平成23年3月31日午後12時まで（申込受付は平成22年3月から）

加入区分・掛金・補償金額（団体活動を行う5名以上の方々に、加入区分をそれぞれお選び頂いてご加入ください。）



加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 （1人当り）	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 （免責金額なし）	共済見舞金
				死亡	後遺障害 （最重）	入院 （日額）	通院 （日額）		
子ども （中学生以下 （特別支援学校 高等部の 生徒を含む。））	スポーツ・文化・ボランティア・ 地域活動	A1	600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合計 1 事故 5 億円 ただし、身体賠償は 1 人 1 億円	突然死 （急性心不全 脳内出血など） 180万円 対象と なりません
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段：団体活動中及びその往復中の補償額 下段：上記以外（個人活動など）の補償額	AW	1,150円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	身体・財物賠償 合計 1 事故 5 億 500 万円 ただし、身体賠償は 1 人 1 億 500 万円	
大人	文化・ボランティア・地域活動 団体の送迎、応援、準備、片付け	A2	600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合計 1 事故 5 億円 ただし、身体賠償は 1 人 1 億円	突然死 （急性心不全 脳内出血など） 180万円
	スポーツ活動 スポーツ活動の指導	C	1,600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
	子どものスポーツ活動の指導 ※C区分でも加入可 ※C区分でも加入可	AC	1,100円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円		
	スポーツ活動 ※スポーツ活動を行わない方はA2区分	B	800円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	9,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

※同一団体で10人以上加入できません。中途加入する場合、中途脱退する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入換え、加入区分の変更はできません。

※掛金には(財)スポーツ安全協会が運営する「共済見舞金制度」の掛金、1人20円が含まれています。

※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません。

インターネットからの加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。 [Web](#) スポーツ安全協会 検索

法人スポーツ安全協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目12番1号 03-5510-0022

保険の詳細内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受付けております。

（引受幹事保険会社）
東京海上自動車火災保険株式会社（提出課）公務第2部公務第1課
TEL 03-3515-4133（平日9:00～17:00）
（共同引受保険会社）（平成22年4月予定）※予告なく変更となる場合があります。
あいおい損害 共 火 災 損保ジャパン 大 岡 火 災 東京海上自動車
日 新 火 災 三井住友海上 日本興業損害 富士火災 三井住友海上
平成21年12月作成 1310-09-247

多い国というポジションからの脱却は難しいのかも知れない。

IFSCのサイトの国別ランキング(参加人数が多ければ順位は上がってってしまう)はあるとして、メダル数、決勝進出者数で各国を順位づけると以下ようになる。

	Medalist	Finalist	remark
GPR	4	5	○
AUT	3	6	◎
ITA	2	5	○
UKR	2	2	○
BEL	2	2	○
SLO	1	6	◎
FRA	1	5	◎
SUI	1	3	
RUS	1	3	
CZE	1	2	
USA		2	
JPN		2	
NOR		1	
SWF		1	
ESP		1	
KOR		1	



GPS登山地図

Gnavi 「GN-01」

パソコン用デジタルマップ標準装備

「道迷い遭難」には登山用GPS



登山地図4,342面を収録

携帯電話auでGPS登山ガイド

山と写真ガイド

豊富な登山と写真記事を掲載

圏外で使えるケータイGPS



au携帯電話より登山全119エリア等高線地図

<http://svgnavi.jp/>

<http://yamanavi.jp/>

BLC BUSINESS LINK CORPORATION

「G-navi」、「山と写真ガイド」に関する情報は各ホームページへ
お問合せ 株式会社 ビジネスリンク TEL:03-3475-0454

自然保護委員総会（新潟大会）報告

9月11～12日、平成22年度日山協自然保護委員全国総会が新潟県山岳協会主管の下、新潟県、柏崎市、(株)新潟日報社、(株)新潟放送のご後援を得て柏崎市高柳町じよのび村で開催され、全国から130余名の委員が参加、山岳環境保全の諸問題につき白熱した議論が繰り広げられた。

総会に先立ち初めての試みとして「全国自然保護委員長会議」が開かれ、全国横断的なネットワーク作りとともに地域の独自性を活かすべく地区ブロックでの『連絡会』の活性化を図ることが協議された。

新潟山協片桐副会長の開会宣言で開始された総会は、まず主催者側田中会長より指導員をさらに増やし、山の素晴らしさ・自然への心遣いを若い世代に伝えてほしい旨、長谷川自然保護委員長より「事業仕分け」で注目される山のトイレ問題の動向が紹介され日山協として総力をあげて制度存続を働きかけること、10月に開催されるCOP10とも連動し山岳環境保全活動のさらなる広がりを図りたいとの今日の課題が提起された。さらに主管代表遠藤会長より、2度の震災を経て立ち上がった中山間豪雪地帯の棚田から生物多様性に学び、自然保護のために岳人同土力を合わせようとの力強い挨拶、柏崎市長(代理)、新潟県環境企画課より歓迎のご挨拶を頂いた。

議事に入り、まず愛媛総会以降の常任委員会の活動報告(毎月の委員会や研修会等)、山岳団体自然環境連絡会(6団体)が行っている「山の鳥獣目撃レポート」への具体的アクセス方法、現在までの報告状況の説明、さらなる協力依頼に続き、「各都道府県山岳連盟(協会)活動状況等について(情報交換)」に進み、あらかじめ提出された資料に基づいて提案・報告がなされた。

クリーンハイクや自然観察会を通じて、未組織登山者や次代を担う若い世代向けに山の楽しさ・素晴らしさを伝え、山のマナーや山岳環境保全の啓もう



を図る活動、登山道整備、間伐や下刈り、植林活動を通じた森作り、稀少野生動植物の保護保全活動、水場の水質調査や樹木の立枯れ調査、携帯トイレの普及活動等々、その活動は多岐にわたり、その担い手としての自然保護指導員を増やす取り組みと共に、各岳連が地域の特性に応じて積極的に繰り広げている山を守る諸活動が報告、質疑応答があった。

しかし、こうした旺盛な環境保全意識とは裏腹に、脆弱な活動資金やマンパワーに手詰り感を抱く岳連も決して少なくない。チャーターバスを利用した一極集中的なツアー登山の増加等いわゆるオーバーユースによる登山道の崩壊や沢水の汚染、地球温暖化や森林開発で生息域を変えざるを得ない野生動物が餌場を求め高山あるいは里山に移動、その採食圧による高山植物や農作物あるいは人的な被害の拡大、樹木を枯死させる病害虫の発生、ライフスタイルの変化による里山活性サイクルの崩壊といった「山」環境の悪化は進み、保全活動の継続は一岳連には荷が重い。そうした中、地域ブロックや行政と連携して成果を挙げた事業、各種補助金を受けて事業の継続を図っている活動が報告され、今後の方向性の一つとして大きくクローズアップされた。

次期開催地を鳥取県と決定後、上越教育大学五百



- ・ルートセッター規程の第3条 各項の文言をクライミング審判規程第3条に準じて改訂する。
- イ JOCジュニアオリンピックカップの結果報告と反省事項について
- ウ 第1回全国高校生クライミング選手権大会について
 - ・全国高体連登山専門部委員長会議での報告
 - ・実行委員会(9/16)について
- エ 後催県の準備状況について
- オ 千葉国体での長崎県のロゴ問題について
 - ・都道府県又は岳連名以外はNG
- カ 千葉国体抽選会に向けての準備について
- キ 第7回山岳スキー競技日本選手権大会(4/9~10)の開催要項について
- ク 2011ワールドカップ千葉大会について
 - ・スポンサーの営業活動について
- ケ 新任常任委員の紹介
 - ・宮地由文(東京)
- コ 千葉国体ボルダリングのオブザベーション時間について
 - ・要項通り5分とする
- (3)遭難対策委員会 8月25日(木) 出席者7名
- ア 山岳レスキュー講習会(無雪期)の準備について 9/11~12、国立登山研修所
- イ 強度試験について 10/30~31、国立登山研修所、大阪府岳連との共催
- ウ 山岳救助隊の保険の問合せについて
- エ 常任委員の委嘱について
- (4)国際委員会 8月27日(金) 出席者10名
- ア 50周年記念事業海外登山隊クロニクル・トークショーについて
- (5)普及委員会 9月2日(木) 出席者6名
- ア「みんな集まれ!ジュニア登山教室」について 報告書作成分担の決定 実施内容が「山と溪谷」12月号に掲載される予定 次回(平成23年度)についての検討
- イ 第50回(平成23年)全日本登山体育大会(福岡)のテーマについて
- (6)広報委員会 9月2日(木) 出席者6名
- ア 登山月報9月号の編集について
- イ HPについて 各委員会専用ページ作成について 各委員会にHP担当者の選任依頼 アクセス制限を設ける予定
- ウ 山協リーフレットについて 最終案提案(9/10、納品予定)
- (7)指導委員会 9月6日(月) 出席者16名
- ア 8月の議事録確認
- イ 講師養成講習会(8/21~22)の報告書の件
- ウ スポーツクライミング指導員認定証の日体協への対処について
- エ スポーツ指導者表彰候補者の資格該当について
- オ 広島岳連からの山岳上級指導員共通科目(Ⅱ)受講に関する問合せについて
- カ 登攀技術研修会(富山、11/20~21)について
 - ・日程変更と担当について
- キ 指導常任委員研修会(山岳スポーツセンター、9/11~12) 参加者の確認と研修内容、担当について
- ク スポーツクライミング上級指導員養成講習会(福井、宮城)の準備について
- ケ 更新登録
 - ・9月末までの実績を10月末までメールで連絡
 - ・義務研修実施申請は、25岳連(協会)
- コ スポーツクライミング主任検定員の合否結果の回答について

2.その他の重要事項

(8月5日~9月8日)

[報告]

- (1)平成22年度全国高体連登山大会開会式 8月6日(金) 於：霧島市牧園アリーナ 田中会長、神崎副会長
- (2)平成22年度全国高体連登山大会 8月6日(金)~10日(火) 於：霧島連山 神崎副会長
- (3)UIAA医科学委員会 8月8日(日) 於：ペルー・アレキバ 堀井常務理事
- (4)50周年記念『みんな集まれ!ジュニア登山教室』8月9日(月)~12日(木) 於：国立立山青少年自然の家 田中会長、本木副会長、西内、

寄贈図書

●寄贈本●

財国立公園協会
2010 自然公園の手びき
日本スポーツ心理学会
スポーツメンタルトレーニング

●雑誌●

東京新聞出版局岳人 10月号
山と溪谷社 山と溪谷 10月号

ROCK & SNOW 単独行者
中国登山協会山野 9月号

●会報●

NPO 日本オリンピック・アカデミー
日本山岳写真協会
(独)日本スポーツ振興センター
明治大学山岳部炉辺会
財日本ゲートボール連合
財国立公園協会
財全日本ボウリング協会
信州大学山岳科学総合研究所

高校生新聞社
財日本万歩クラブ
(独)日本武術太極拳連盟
神奈川県山岳連盟
大韓山岳連盟
日本ヒマラヤ協会
財日本体育協会
長野県山岳連盟
日本勤労者山岳連盟
(独)国土緑化推進機構
NPO 山のECHO
京都府体育協会

日本フリクライミング協会
愛知県山岳連盟
新潟県山岳協会
(独)日本山岳会
東京野歩路会
日本オオカミ協会
和歌山県山岳連盟
大阪府立体育会館
日本山岳写真協会
山梨県山岳連盟
財熊本国際観光コンベンション協会
六つ星山の会

あなたの保険は、 安心して登山ができる保険ですか。

自分だけは安全、と思いがちですが、
年間遭難者数は約2,000人です。

■平成20年 山岳遭難の概況

(警察庁生活安全局地域課 平成21年7月3日)

発生件数 **1,631** 件

遭難者数 **1,933** 人

死者・行方不明者 **281** 人

詳しくは → www.jma-sangaku.org

お問い合わせは

日本山岳協会 山岳共済会

事務委託：日本山岳協会山岳共済事務センター
月～金 10:00～17:00 (土・日・祝日除く)

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 3-7-11-707

TEL: 03-5958-3396 FAX: 03-5958-3397

E-mail: sangakukyousai@mbd.ocn.ne.jp

仙石常務理事、大西、篠原、佐伯常任委員

- (5)ルートセッター全国研修会 8月9日(月)～11日(水)
於：南砺市桜ヶ池C C 寺内常務理事
- (6)公益法人打合せ 8月11日(水)
於：岸記念体育会館 内藤副会長、北村諮問委員、尾形常務理事
- (7)第13回J O Cジュニアオリンピックカップ 8月13日(金)～15日(日) 於：南砺市桜ヶ池C C 田中会長、北山常務理事、中川事務局員
- (8)山岳遭難・搜索保険打合せ 8月18日(水) 於：事務局 三井住友海上・藤岡、尾形常務理事
- (9)吉野弘参与(千葉)逝去 8月28日(土)
- (10)「山の日」制定協議会 8月30日(月) 於：四谷スター貸会議室 本木副会長、尾形常務理事
- (11)第65回千葉国体組合せ抽選会 9月5日(日) 於：岸記念体育会館 内藤副会長、高山常務理事
- (12)日本山岳写真協会写真展の表彰式・祝賀会 9月5日(日)
於：ホテル「はあといん乃木坂」田中会長

3. 議事

- (1)平成22年度8月常務理事会議事録の承認について
(指導員の認定承認の箇所、一部加筆で承認)
- (2)平成22年度専門委員会常任委員について
(指導、遭対委員長が候補者推薦の一部を当該岳連に要請・確認後、10月常務理事会で事後承認とする。また、競技委の一部学識経験者について本人確認後、訂正する事で承認)
- (3)日本山岳遺産基金特別会員について
(提案通り、特別会員の入会について承認)
- (4)第1回日本山岳グランプリ推薦要項について
(提案通り、承認)
- (5)50周年記念式典・祝賀会につ

いて
(提案通り、承認)

- (6)報告事項
ア 会計月次報告
イ 50周年記念事業について
ウ 平成22年度雪崩災害防止功労者表彰について
エ 平成23年度山岳遭難・搜索保険について
オ 消防防災ヘリコプターによる山岳救助のあり方に関する検討会について
カ 平成22年度補正予算について
キ 第53回オールスポーツマンゴルフ大会について
ク パキスタン水害義援金について
ケ 日韓友好岳人交流会について
コ 奈良県警察本部生活安全部からの登山者への注意喚起について
サ 日中韓国際救助技術セミナーへの参加について

4. 役員等の派遣について

- (1)アジア選手権 9月15日(水)～19日(日) 於：中国・長治 北山常務理事、篠崎常任委員、選手
- (2)平成22年度和歌山県ゴールデンキッズ発掘プロジェクト 9月19日(日) 於：和歌山市 西谷競技常任委員
- (3)I F S C イベント実務者会議 9月24日(土)～25日(日)
於：ベルギー・Puurs 小日向常任委員
- (4)第65回千葉国体総合開会式・大会役員懇談会 9月25日(土)
於：ホテルニューオータニ幕張 田中会長
- (5)財団法人自然公園財団平成22年度第3回理事会 9月29日(水)
於：法曹会館 田中会長
- (6)第65回千葉国体・山岳競技 10月2日(土)～4日(月)
於：印西市 田中会長、内藤、本木副会長、高山、北山、寺内常務理事
- (7)U I A A 総会 10月5日(水)～10日(日) 於：イタリア・Bormio 田中会長、笹生常任委員

- (8)平成22年度中高年安全登山指導者講習会(東部地区) 10月8日(金)～10日(日)
於：富士北麓、人材開発センター富士研修所 内藤副会長、西内、堀井常務理事
- (9)50周年記念「安全登山の講演と映画会」(宮城大会) 10月9日(土)～10日(日)
於：この花さくや姫プラザホール・栗駒山 本木副会長、尾形常務理事
- (10)スポーツライミング上級指導者養成講習会 10月9日(土)～11日(月) 於：福井県立ライミングセンター 永井常務理事、井納常任委員他
- (11)スポーツライミング上級指導者養成講習会 10月16日(土)～18日(月) 於：宮城県第2総合運動場 永井常務理事他競技常任委員2名
- (12)第49回全日本登山体育大会 10月22日(金)～24日(日)
於：静岡市・富士山周辺他 田中会長、内藤、神崎、本木副会長、仙石、尾形常務理事
- (13)第7回J O Cスポーツと環境担当者会議 10月29日(金)
於：味の素ナショナルトレーニングセンター 尾形事務局員
- (14)森谷重二郎氏を偲ぶ会 10月28日(木) 於：東京グランドホテル 田中会長
- (15)日韓友好岳人交流会 10月29日(金) 於：K K R ホテル大阪 粟飯原副会長
- (16)U A A A 総会 11月6日(土)～7日(日) 於：中国・北京 田中会長、笹生常任委員
- (17)福井山岳会 創立70周年記念祝賀会 11月7日(日)
於：福井 粟飯原副会長
- (18)第69回国体(長崎)第1回正規視察 11月20日(土)(後日変更)
於：長崎 北山常務理事

5. 後援、協賛等の依頼について

- (1)第14回雪崩安全セミナーの後援名義(承認)
- (2)第18回日本山岳耐久レース(24時間以内)長谷川恒男Cupの名義後援(承認)

全国の高校生クライマーよ 集まれ! 第1回 全国高校生クライミング選手権大会 in 埼玉 加須

成功させよう
JMA50周年記念
50th Anniversary
JMA

12/25(予選)▲ 12/26(準決勝・決勝)

- 会 場：埼玉県加須市民体育館
(埼玉県加須市下三俣590)
- 期 日：2010年12月25日㊤～26日㊤
- 主 催：(社) 日本山岳協会
- 主 管：埼玉県山岳連盟
- 後 援：(財) 全国高等学校体育連盟・埼玉県教育委員会・埼玉県体育協会・
加須市・加須市教育委員会・加須市体育協会
- 事務局：(社) 日本山岳協会

個人戦：初代高校生チャンピオンは誰に!?
文字通り、真の高校生日本一クライマーを決める個人戦
団体戦：初代クライミング日本の高校はどこに!?
各高校2名以上で1チーム
チームの上位2名の個人順位の合計で争うチーム戦

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館
TEL 03-3481-2396 FAX 03-3481-2395
mail info@jma-sangaku.or.jp URL http://www.jma-sangaku.org/

【申し込み方法】

- ①申し込みは、所定の用紙を㊤日本山岳協会のホームページよりダウンロードし作成すること。
- ②各都道府県推薦選手の参加人数は各都道府県あたり4名までとし、性別は問わない。各都道府県推薦選手4名と日本山岳協会推薦選手については各都道府県山岳連盟(協会)、または各都道府県高体連登山専門部で個人用申込書(様式1)を集約し、郵送で下記に申し込むこと。
- ③定員に満たない場合、各都道府県参加追加予定選手申込書(様式2)の欄に記載された優先順位順が上位の選手から順に出場を決定する。

※やむをえず各都道府県山岳連盟(協会)若しくは各都道府県高体連登山専門部の集約外で日本山岳協会推薦選手以外が個人申し込みをした場合は各都道府県参加追加予定選手の優先順位の最下位として扱ふ。

- ④申込先 〒746-0011 山口県周南市土井1-8-1
山口県立新南陽高等学校内
第1回全国高校生クライミング選手権大会事務局
担当 大田 真一
TEL 0834-63-5555
- ⑤申込締め切り 平成22年11月19日(金) 必着(厳守のこと)

6.報 告

(1)自然保護指導員の承認

埼玉：2名 栃木：2名(承認)

(2)ルートセッターの認定承認

① B 級

平嶋元(東京)、菅谷良信(千葉)、
渡辺数馬(千葉)(以上、承認)

② C 級

風間大輔(埼玉)、村上理武(滋賀)、
木村淳(佐賀)、濱田健介(滋賀)(以上、承認)

編集後記

安全登山宮城大会の栗駒山では、ハイマツの緑に映えるミネカエデやナナカマドの紅葉を堪能いたしました。冬将軍が間近に迫る秋山を安全第一でお楽しみ下さい。

登山月報も次号が500号です。多くの方々のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

(広報 本木 総子記)

登山月報 第499号

定 価 100円(送料別)
予約年間1、200円送料共
昭和45年12月12日
第三種郵便物認可
(毎月1回15日発行)
発行日 平成22年10月15日
発行者 東京都渋谷区神南1の1の1
岸記念体育会館内
社団法人日本山岳協会
電 話 03-3481-2396
F A X 03-3481-2395

HANDY GPS RECEIVER & LOGGER **ATLAS® ASG-10** 販売価格 18,900円(税込)

正確な位置情報があなたを助ける!

- 3つのセンサー(加速度・方位・気圧)で正確な位置・移動情報を表示
- 事前プランニングで楽しさ倍増!
- 軌跡表示で目的地に誘導
- 23種の多彩な表示項目

株式会社 コピテル 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33
TEL 03-3769-2525 FAX 03-3769-2520
お問い合わせ先:アトラス事業部 山下まで
https://atlas.yupiteru.co.jp
※ご購入は弊社ホームページからアトラスクラブに入会(無料)し、直接購入もできます。



ドコモ限定 月額315円→10月は0円

雨・カミナリの30分前にメールをお届け!

全国720か所の紅葉を5段階表示!

ケータイニュースサイト
NHKニュース&スポーツ

